



あだっこ

五條市立阿太小学校だより
平成 28 年 7 月 15 日
第 10 号

あかるく元気な子 だれにも親切な子 しっかり考える子 ことばを大切にする子



リオデジャネイロオリンピックまで あと 20 日あまり…



○今年の夏の楽しみの一つに、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックがあります。オリンピックは8月5日（現地時間）に開幕し、世界 204 の国や地域、約 10,500 人の選手（参加予定人数）が、28 競技 306 種目でその技や力を競い合います。また、パラリンピックは9月7日（現地時間）に開幕し、176 の国や地域、約 4,350 人（参加予定人数）が 22 競技で競い合います。

4 年に 1 度のスポーツの祭典、日本選手の活躍も大いに期待されています。さて、今年はどうな感動のドラマが生まれるのでしょうか。今からわくわくします。

○閑話休題（それはさておき）。

ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、ガイアナ、コロンビア、スリナム、チリ、パラグアイ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア。リオデジャネイロがあるブラジルを含む南アメリカ大陸の 12 カ国の名前です。

みなさんは、このうちいくつの国の名前を知っていたでしょう？これらの国々は、どんな言語を使っているのでしょうか？どれぐらいの人口が住んでいるのでしょうか？首都はどこでしょう？面積は日本より大きいのでしょうか？小さいのでしょうか？世界には、南アメリカ大陸以外にいくつの大陸があって、いくつの国があるのでしょうか？

また、オリンピックはいつから、何のために始まったのでしょうか？なぜ、4 年に 1 回なのでしょう？いったい、これまでいくつの国で開催されてきたのでしょうか？ などなど。

リオデジャネイロオリンピックという言葉から少し想像を膨らませると、次から次へと疑問がわいてきます。実は、そういう疑問をもつことから『学び』が始まるのです。そして、その疑問を自分で調べて解いていくことで、自分の力を高めていくことができるのです。『自ら課題をもち、自ら学び、自ら解決する』今の子どもたちに求められているのは、そういう力なのです。

○伯刺西爾、濠太刺利、葡萄牙、白耳義、土耳其、西班牙、仏蘭西、瑞西、亜爾然丁、英吉利、露西亞、希臘、宇柳具、伊太利亞、墨西哥、和蘭陀、独逸、亜米利加、加奈陀、埃及、韓国…。

世界の国々を漢字で表したものです。さて読めるでしょうか？こんな漢字、いつ、だれが考えたのでしょうか？

少し発展させてみると、こんな学習をすることもできます。要は、一つの出来事をきっかけに、自分の興味や関心の幅を広げて、自主的・主体的に学習に取り組んでみるのが大切なのです。

夏休みは、そんな学習に取り組む絶好のチャンスです。7 月 21 日から始まる 42 日間。自分の中に眠る『自ら学び、解決する力』をしっかりと目覚めさせてやりましょう。

